

きずな

2019 **11** November

今号の題字

宮崎市立学園木花台小学校 6年
川口 慎さん



CONTENTS

- ② 九P福岡県大会
- ③ 日P兵庫大会
- ④ 県Pリーダー等研修会
- ⑤ 県P情報
コラム「親がめ子がめ」
- ⑥ トピックス「えびの市立飯野小学校」
編集後記

真夏の恒例行事、

6年生デイキャンプ

8月18日(日)に、学園木花台小学校(木下史朗校長 児童数360名)で6年生のデイキャンプが行われました。

宮崎大学の学生ボランティアの皆さんによるレクリエーションを楽しんだ後、保護者が作ったカレーを食べ、夜は「きもだめし大会」です。まずは、読み聞かせボランティアの方々によるちよつと怖い話。生のピアノ演奏が響く中、障子と笹の舞台で語られるお話が子どもたちの気分(恐怖感)を盛り上げます。そしてお待ちかねの「お化け屋敷」。この日のために保護者がまる3日かけ準備しました。「キヤー! バタバタ!!」と聞こえた後、子どもたちの笑顔が…。これからも、地域の皆さんと一緒にこの笑顔を受け継いでいこうと思います。【広報部 部長 鳥屋尾弘美】



PTCAの連携を図り、 子どもたちの成長を見守るPTA活動

「えびの市立飯野小学校」(唐仁原 幸吉校長 児童数382名)

校の環境整備を行っています。今回はPTCAの連携を図っている取組をいくつか紹介します。

本校では、年3回、「親子クリーン活動」を行っています。朝早くから親子で草取りや窓ふき等の清掃活動をします。親子のふれあいを大切にしながら約2時間かけて作業をします。行き届かなかったところをやまびこ会の皆さんが草を刈ったり、溜まった草を処理したりしてくれま
す。かゆいところに手が届くような作業をしてもらい、本当に助かっています。

6年生の学年レクレーションでは、毎年、校内キャンプを行っています。保護者と学級担任が中心になって、子どもたちにとって楽しい思い出になるように、企画運営をします。校内キャンプの中で恒例となっているのが「肝試し」です。肝試しは、校内キャンプで最も盛り上がるメインイベントで、やまびこ会や地域の読み聞かせグループ「ひよこ」の皆さんも協力します。保護者が校内をまるでお化け屋敷のように飾り付け、「ひよこ」の皆さんは、怪談の読み聞かせをします。「やまびこ会」の皆さんは、お化けに扮して子どもたちを驚かせます。当然のごとく、夜の校舎に子どもたちの悲鳴が響きわたり、子どもたちにとって忘れられない1日になります。協力していただ

いた保護者、やまびこ会、ひよこの皆さんの満足げな笑顔が印象的でした。

門松づくりは、本校PTAにとって、伝統的な行事です。

本校には、正門、東門、北門、西門の4つの校門があります。全ての門に門松を立て、気持ち良く新しい年を迎えるようにしています。特に正門の門松は、高さが3メートル近くあり、作り上げるのも大変な作業です。毎年、保護者だけでなく、教職員とやまびこ会の皆さんも一緒に門松作りに協力しています。やまびこ会の中には、何年も門松作りに携わっている方々もおり、PTA会員の皆さんは先輩方から手順を教してもらいながら作ります。門松づくりは、本校の伝統が引き継がれていくよい機会となっています。

今年度の運動会は、台風のため順延になりました。次の日に開催できるか心配でしたが、朝4時から保護者、やまびこ会、教職員の有志が集まり、テントを設置していただきました。朝6時頃には、多くの保護者、教職員が集まり、運動場の整備をしたり、万国旗を張ったりする等して、何とか1時間遅れでスタートすることができました。子どもたちは元気いっぱい競技や表現に取り組み、大成功のうちに終えることがで